



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 陽夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,152	△4.5	1,506	69.0	1,327	28.3	820	43.2
2020年3月期第3四半期	10,627	△8.4	891	△19.3	1,034	△17.7	573	△29.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 703百万円(138.5%) 2020年3月期第3四半期 295百万円(△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.95	—
2020年3月期第3四半期	36.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	58,785	45,619	77.6
2020年3月期	58,564	45,380	77.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 45,619百万円 2020年3月期 45,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,580	△7.3	1,410	76.4	1,530	79.5	890	80.0	57.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	16,579,060株	2020年3月期	16,579,060株
2021年3月期3Q	1,081,540株	2020年3月期	1,081,540株
2021年3月期3Q	15,497,520株	2020年3月期3Q	15,497,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。」とされており、先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意することと、金融資本市場の変動等の影響を注視することが必要であります。

(寝具・リビング用品事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・増益となりました。

減収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により得意先の各種経済活動が停滞しており、殆どの販売チャネルにおいて営業活動が滞ったためであります。また、主力のダイレクトセールス部門におきまして、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも前期の減員を補填するに至らなかったためであります。

一方、増益となった主な要因は、ダイレクトセールス部門においてクリーニングの好調等により一人当たり売上高が上昇したこと及び当社グループ全体で業務効率化と経費圧縮に努めたことによるものであります。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・増益となりました。

増収の主な要因は、2019年11月度より発生しております建て貸し用ホテルの賃料収入によるものであります。

増益の主な要因は、上記増収要因に加え、修繕費等の設備関係費が前年同四半期を下回ったためであります。

なお、新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下においても、主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルの収益は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は10,152,642千円と前年同四半期と比べ474,532千円（4.5%）の減収となりました。営業利益は1,506,505千円と前年同四半期と比べ615,184千円（69.0%）の増益、経常利益は1,327,115千円と前年同四半期と比べ292,460千円（28.3%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は820,628千円と前年同四半期と比べ247,422千円（43.2%）の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は9,386,937千円と前年同四半期と比べ519,755千円（5.2%）の減収、セグメント利益（営業利益）は1,463,277千円と前年同四半期と比べ396,066千円（37.1%）の増益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は765,705千円と前年同四半期と比べ45,222千円（6.3%）の増収、セグメント利益（営業利益）は441,755千円と前年同四半期と比べ158,601千円（56.0%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して220,834千円増加し、58,785,165千円となりました。これは主に、償還された有価証券及び預金からの組替等により投資有価証券が2,930,538千円増加したことによるものであります。一方で、有価証券が1,789,439千円減少、現金及び預金が346,995千円減少、在庫の圧縮によりたな卸資産が250,745千円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して18,040千円減少し、13,165,526千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して238,874千円増加し、45,619,638千円となりました。これは主に、期末配当を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が355,702千円増加した一方で、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が122,001千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日付で公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,196,234	27,849,239
受取手形及び売掛金	6,138,406	6,097,884
有価証券	1,789,439	—
たな卸資産	2,198,838	1,948,093
その他	372,386	322,136
貸倒引当金	△66,749	△82,122
流動資産合計	38,628,555	36,135,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,681,137	19,740,567
減価償却累計額	△14,574,242	△14,766,189
建物及び構築物（純額）	5,106,895	4,974,377
機械装置及び運搬具	2,670,519	2,687,137
減価償却累計額	△2,347,134	△2,385,273
機械装置及び運搬具（純額）	323,385	301,864
工具、器具及び備品	757,132	732,302
減価償却累計額	△526,715	△542,788
工具、器具及び備品（純額）	230,417	189,513
土地	13,069,599	13,036,996
建設仮勘定	1,767	5,826
有形固定資産合計	18,732,064	18,508,579
無形固定資産	28,819	23,663
投資その他の資産		
投資有価証券	673,771	3,604,309
繰延税金資産	290,036	292,659
その他	253,085	262,910
貸倒引当金	△42,001	△42,188
投資その他の資産合計	1,174,892	4,117,690
固定資産合計	19,935,775	22,649,933
資産合計	58,564,330	58,785,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,929	423,146
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	500,000
未払金	693,686	574,820
未払法人税等	166,169	337,896
賞与引当金	182,380	88,250
返品調整引当金	64,141	61,910
割賦利益繰延	1,154,167	993,086
その他	839,794	966,674
流動負債合計	4,426,270	3,945,785
固定負債		
長期借入金	7,000,000	7,500,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	376,564	375,548
長期預り保証金	1,176,279	1,135,159
繰延税金負債	13,352	18,128
その他	167,118	166,922
固定負債合計	8,757,296	9,219,741
負債合計	13,183,567	13,165,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	47,309,339	47,665,041
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,621,195	46,976,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48,561	△36,924
繰延ヘッジ損益	5,511	△951
為替換算調整勘定	△1,197,381	△1,319,383
その他の包括利益累計額合計	△1,240,432	△1,357,260
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,380,763	45,619,638
負債純資産合計	58,564,330	58,785,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,627,175	10,152,642
売上原価	3,983,951	3,504,574
売上総利益	6,643,223	6,648,067
販売費及び一般管理費	5,751,901	5,141,561
営業利益	891,321	1,506,505
営業外収益		
受取利息	269,092	126,166
受取配当金	11,970	11,230
受取手数料	44,822	48,297
その他	64,627	31,115
営業外収益合計	390,512	216,810
営業外費用		
支払利息	10,112	10,363
為替差損	208,268	384,272
その他	28,798	1,564
営業外費用合計	247,179	396,200
経常利益	1,034,655	1,327,115
特別利益		
有形固定資産売却益	9,612	2,110
特別利益合計	9,612	2,110
特別損失		
減損損失	—	32,602
有形固定資産売却損	48,042	51
有形固定資産除却損	29,608	994
ゴルフ会員権評価損	4,325	—
特別退職金	86,932	—
特別損失合計	168,908	33,648
税金等調整前四半期純利益	875,358	1,295,577
法人税等	302,152	474,948
四半期純利益	573,205	820,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	573,205	820,628

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	573,205	820,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,697	11,636
繰延ヘッジ損益	5,390	△6,463
為替換算調整勘定	△329,259	△122,001
その他の包括利益合計	△278,171	△116,828
四半期包括利益	295,034	703,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,034	703,800
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,906,692	720,482	10,627,175	—	10,627,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	176,942	176,942	△176,942	—
計	9,906,692	897,425	10,804,117	△176,942	10,627,175
セグメント利益	1,067,211	283,153	1,350,365	△459,043	891,321

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△176,942千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△459,043千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,386,937	765,705	10,152,642	—	10,152,642
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	181,724	181,724	△181,724	—
計	9,386,937	947,429	10,334,366	△181,724	10,152,642
セグメント利益	1,463,277	441,755	1,905,032	△398,527	1,506,505

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△181,724千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△398,527千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産賃貸事業において、一部の固定資産について異なる用途への転用に伴い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し32,602千円を減損損失（特別損失）に計上しております。